

■■■■■■■■

立正大学 地域連携メールニュース Vol.1 (2021年8月1日発行)

立正大学研究推進・地域連携センター

<https://www.ris.ac.jp/rpra/>

立正大学研究推進・地域連携ポータル

<http://kumacom.net/TJUP/> (試験運用中)

立正大学地域連携コーディネーターズBLOG

<https://onl.tw/pGHgvKQ>

■■■■■■■■

転送・転載歓迎

こんにちは、品川も熊谷も夏本番です。

立正大学の「地域連携メールニュース」を品川・熊谷2人の地域連携コーディネーターからお届けします。

●目次

【1. トピックス】

①全学共通

1. 立正大学ミライ会議
2. 発信力UPセミナー「立正大学・地域連携ニュース(仮題)」編

②熊谷キャンパス

1. 発信力UPセミナー「インタビュー動画編」
2. NPO仕事体験
3. 「ニャオざねまつり」への参加
4. 市民活動団体への参加・協働
5. JST共創の場形成支援プログラム地域共創分野への応募
6. 比企丘陵の日本・世界農業遺産申請事業、今年度も進行中

③品川キャンパス

1. 「こみゆにていふらざ八潮」の活性化
2. (仮称)品川区立環境学習交流施設でのSDGs教育
3. 大崎エリアマネジメントとの共同事業

【2. お知らせ】

1. 立正大学ブランド日本酒「立咲」販売中
2. 谷津田米ブランド日本酒「谷津の祈り」販売中
3. TJUP共同FD・SD「チームビルディングの理論を学ぶ(入門編)」開催・参加者募集

=====

【1. トピックス】

①全学共通

◇1. 立正大学ミライ会議

立正大学ミライ会議とは、毎回ゲストからキャリアやあるテーマについて話していただき、参加者が新しい価値の習得や生き方のヒントになるような、参加者とゲストをつなぐオンラインコミュニティです。実行委員会を立ち上げ、現在5名(2年生3名:法学部、文学部、社会福祉学部/3年生2名:文学部)の学生が実行委員となっています。

現在までに2回プレ開催を実施しました。次回本開催1回目、日時は8月18日17時～で決定しています。

Zoomをご利用いただける方は、どなたでも参加できます。アクセス方法は、インスタグラム「立正大学ミライ会議広報」に掲載されますので、そちらをご覧ください。

詳しくは↓)

<https://www.instagram.com/risshomiraikaigi/?hl=ja>

◇2. 発信力UPセミナー「立正大学・地域連携ニュース(仮題)」編

立正大学の地域連携活動について、地域連携コーディネーターが中心となって記事を作成し、半年に1回程度紙面・WEBで「立正大学・地域連携ニュース(仮題)」として情報発信を検討しています(紙面は9月、3月を予定/WEBは随時)。

それと並行して、学生に対して、取材や記事作成、編集などの技術面を学ぶ発信力UPセミナーを開催します(10月からを予定)。学びを形にし、希望学生も地域連携活動の情報発信を行う予定です。

②熊谷キャンパス

◇1. 発信力UPセミナー「インタビュー動画編」

発信のプロフェッショナルに実践で学ぶシリーズセミナー。熊谷経済新聞(Wecニュース)、FMクマガヤ(コミュニティ放送)、「NAOZANE」(フリーペーパーのエリア紹介記事)い続き「インタビュー動画編」を開催します。2019年のワールドカップのレガシー「スポーツ+まちづくり」のコラボレーション。その可能性を、本学データサイエンス学部講師で本学に本拠を置く女子7人制クラブ「ARUKAS熊谷」コーチを務める宮崎善幸さんのインタビューを、BS朝日「ラグビーウィークリー」などスポーツ番組を多く手がけるテレビディレクター木下健さんを講師に収録から編集、公開までを学ぶセミナーを8月22日に開催しました。編集後のインタビュー完全版は、近日配信予定。

地域連携センターFacebookページ

<https://www.facebook.com/groups/348679698633265/posts/1896966430471243>

◇2. 「NPO仕事体験」

昨年度、NPOくまがやの協力で行われ好評だったTJUP事業「NPO仕事体験」。今年も、さらにエリアを拡大して行います。

熊谷共助ニュース3月9日(Facebookページ)

<https://www.facebook.com/kumagayaknews/posts/2731191750427080>

◇3. 「ニャオざねまつり」への参加

今年度で14回を迎える、熊谷市の市民活動の発表と交流の「ニャオざねまつり」。コロナ禍で昨年度から動画配信と分散型ミニイベントの「いつでも・どこでも」スタイルとなり、10月のメイン開催日に向け4月から月に1回の企画委員会を展開しています。

発信力UPセミナー「NAOZANE編」に参加した環境システム学科2年石井さん、地理学科2年奥村さんが参加してアイデアを出し合っているほか、品川キャンパスの学生からのオンライン参加希望も出ています。

ニャオざねまつり(Facebookページ)

<https://ja-jp.facebook.com/nyaozanematsuri/>

◇4. 市民活動団体への参加・協働

発信力UPセミナー「NAOZANE編」参加学生が、記事作成の相談に市民活動支援センターに訪れたのをきっかけに市民との結びつきを深めています。

詳しくは↓)

https://rissho-ra-coordinators.blogspot.com/2021/07/blog-post_19.html

◇5. JST共創の場形成支援プログラム地域共創分野への応募

データサイエンス学部が中心になり、科学技術振興機構(JST)共創の場形成支援プログラム地域共創分野「育成型」2021年度公募事業(<https://www.jst.go.jp/pf/platform/koubo.html>)に「子育て世代をデータサイエンスで支えるまち」の共創拠点」のテーマで応募の希望があり、研究支援・地域連携センターとして書類作成を支援しました。

◇6. 比企丘陵の日本・世界農業遺産申請事業、今年度も進行中

比企丘陵農業遺産推進委員会*(滑川町、熊谷市、東松山市、嵐山町、小川町、吉見町、寄居町、JA埼玉中央、JA熊谷より構成 <http://hiki-kyuryo.jp/greeting/>)で進めている比企丘陵に1500年以上続く天水のみを利用した谷津沼農業文化・水利施設の日本・世界農業遺産への登録申請事業は、昨年度の現地審査では世界農業遺産にも値すると評価され、最終審査まで残りましたが、認定に至りませんでした。今年度の申請では、関係自治体がまとめ、年度末の再申請に向け、資料作りを始めております。

*立正大学は賛助会員であり、幹事会に相談役を出しており、審査会では全体説明を行っております。

③品川キャンパス

◇1. 「こみゆにていぶらざ八潮」の活性化

品川区八潮地区の小学校の廃校を利用したこみゆにていぶらざ八潮の活性化について品川区から相談を受け、センター事業として進める事になりました。本年度事業は以下の課題をワークショップを通して考えます。

- ①施設にある元気食堂と畑と連携させ出来た野菜を食材として利用できるしくみ
- ②廃棄のできない屋上農園(イトーヨーカドー大井町店の屋上農園と連携)の土を立正大学の研究成果を使って再生する土壌リフレッシュセンターの実証実験
- ③これらを使ったSDGs教育などのメニュー化と活性化への学生の関わり方

品川区ホームページ

<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/PC/shisetsu/shisetsu-bunka/shisetsu-bunka-bunka/shisetsu-bunka-bunka-komyupura/index.html>

元気食堂

<http://www.shokuiku.or.jp/genki.html>

◇2. (仮称)品川区立環境学習交流施設でのSDGs教育

令和3年4月、戸越公園内に開設予定の(仮称)品川区立環境学習交流施設。展示物は立正大学地球環境科学部の監修の下に準備が進められています。

品川区環境推進会議(立正大学から学生委員2名参加)を中心に展示内容への区民の関与として動かしながらSDGs教育が出来るようなメニューを考えています。

これと平行して、立正大学が行うSDGs教材や、周辺の学校、戸越エリアマネジメント、戸越商店街などと連携して立正大学生が係わるコンテンツを検討する事業が、研究支援費2種の事業として始まっています。

品川区民ニュース「(仮称)品川区立環境学習交流施設の愛称募集」

<https://kumin.news/shinagawa/info/18737>

◇3. 大崎エリアマネジメントとの共同事業

大崎エリアマネジメント(OAM)との共同事業として、「夢さん橋2021」イベントへの参加学生を募集しています。現在2年生2名、3年生4名が参加表明しており、イベントの準備に備えています。

夢さん橋ホームページ

<https://www.shinagawa-yume.com/index.html>

=====

【2. お知らせ】

◇1. 立正大学ブランド日本酒「立咲」販売中

前年度のプロジェクトで熊谷市唯一の酒蔵・権田酒蔵との連携で制作した立正大学ブランド日本酒「立咲」。権田酒造社長で杜氏の権田清志さん、利酒師の兵道俊美さん、デザイナーの後藤新吾さんらプロの技術ノウハウを学びながら、8人の学生が完成させました。720ml瓶が1,500円(税込)で、権田酒造店舗、ネット販売部で販売しています。

▼詳しくは↓「熊谷経済新聞」(第1回発信力UPセミナー協カメディア)

<https://kumagaya.keizai.biz/headline/865/>

◇2. 谷津田米ブランド日本酒「谷津の祈り」販売中

日本・世界農業遺産への登録申請事業において6次産業の活性化を支援する事業として、立正大学谷津田イノベーション研究会が株式会社埼玉復興、EPBIZ、ヘリテージファーム、小原営農と立正大学x市民x農福連携にて栽培した谷津田米から権田酒造で醸造している清酒「谷津の祈り」は、昨年度は丸広百貨店のお歳暮カタログの表紙にもなり、大量に販売されました。現在、オンラインショップ<https://www.sake-japanese.shop/product/product-912>にて販売しています。

▼農福連携圃場は <https://bit.ly/3BY4Gh2>

◇3. TJUP共同FD・SD「チームビルディングの理論を学ぶ(入門編)」開催・参加者募集

埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)主催の共同FD・SD。チームビルディングの理論を学び、チームビルディングの手法を体験することで、目標を達成するチーム・組織づくりを学びます。

<実施日> 2021年8月26日(木) 13:30~16:30

<実施会場> オンライン開催(Zoom)

※お申込締切後に登録されたメールアドレス宛に、ZoomID等をご連絡いたします。

<申込方法> 以下のURLからお申込ください。

<https://forms.gle/fZF6dFstQXVCmkrQ9>

<申込締切> 2021年8月19日(木)

<受講料> 無料

<定員> 80名(先着順)

<対象> TJUP会員校・自治体会員・事業者等会員、その他学校関係者

詳しくは↓TJUPホームページ

<https://www.tjup.taibokudo.jp/3381/>

■■■■■■■

問い合わせ先

このメールニュースへのお問い合わせは下記あてにお願いします。

連絡先: 立正大学研究推進・地域連携課<shien@ris.ac.jp>

●●●

◆発行責任者 立正大学研究推進・地域連携センター センター長 後藤真太郎

◆編集 地域連携コーディネーター 品川・横田 明菜 熊谷・小林 真

本ニュースレターは、研究推進・地域連携センターが管理人となって、TJUPを含む立正大学が関連する研究、地域連携事業の状況を発信する目的で教職員に配信しています。

記事掲載をご希望の教職員に置かれましては、内容(200文字くらい)をメールで地域連携センターへご連絡ください。編集会議を経て掲載させていただきます。

■■■■■■■■